



みんな輝く！ 学校輝く！ ふるさと輝く！

「輝く！」 第7号



令和6年9月30日(月)発行

(りんどうヶ丘小ホームページQRコードです。給食やブログ等をご覧いただけます。)

教員不足と働き方改革！ ～魅力的で働きがいのある 職場作りのために～

令和6年9月23日の熊日新聞に、「**県内教員127人不足**」という見出しで大きな記事が掲載されていました。これは、今始まった問題ではなく、熊本県では21年度から4年連続で毎年130人前後の**教員不足**が続いており、**大変深刻な問題**となっています。

教員不足の原因は様々ありますが、解決のためには、教員を目指す学生を増やさなければなりません。そのためには、“ブツラック”とも揶揄される教員の仕事を、**より魅力的で働きがいのある職場**であるかということを知ってもらうことが重要です。

このような状況に鑑み、熊本県教育委員会では、「**働き方改革推進プラン**」を策定し、公立学校における推進を図っているところです。

そこで、本校における近年の働き方改革の状況をお伝えしたいと思います。

① スクールバスの単独運行で 下校時刻の繰り上げにより 授業準備時間の確保！

昨年度末のPTA総会でもご説明しましたが、これまで、**スクールバス**は市原小学校との共同運行だったため、本校の下校時刻は16:20でした。しかし、今年度から教育委員会のご配慮により、**本校単独運行**となったため、**下校時刻を15:40**に繰り上げることができました。よって、**40分間の時間**が生まれ、それだけ早く**次の日の授業の準備**などの業務を行う時間の確保につながりました。

実際の超過勤務（時間）を昨年度と今年度で比較してみますと、以下のとおりです。

	(一人平均) R6	(一人平均) R5	(一人平均) 前年比
4月	47.7	50.6	-2.9
5月	42.5	48.5	-6.0
6月	44.4	45.4	-1.0
7月	33.3	31.5	+1.8
8月	12.8	14.5	-1.7

(時間) (時間) (時間)

この数字からだけでは判断はできませんが、

40分間という時間は、その分、**子供たちの充実した学びを保障**することができ、併せて、少なからず、**教職員のワークライフバランスとの両立**にもつながっているものと考えられると思います。

② 運動会の午前中開催を継続！

コロナ禍前は、全国的に、運動会と言えば一日開催が主流だったと思いますが、コロナ禍で中止や規模縮小が行われ、**5類に移行した現在も午前中開催**の学校がほとんどではないでしょうか。

保護者の方々の中には、「**お昼の弁当を作らなくていいので助かる!**」といった意見と、「**やっぱり以前のように午後からも運動会をやりたい!**」という意見とが**賛否両論**あることは承知しています。

しかしながら、子供たちの**体力的負担、熱中症対策、教職員の負担感**等々を考慮すれば、午前中開催が望ましいという結論に至っているところですので。午前中という**限られた時間**ではありますが、その時間の範囲内で、運動会で**目指す児童像**や**身につけさせたい力**を培っていきたいと考えております。

③ 毎月3日は、教職員も、 「I♡家族デー」!

長時間労働は、教職員の**心身の健康**に影響を与えるだけでなく、ひいては子供たちへの教育にも大きな影響を及ぼすことから、**自分と愛する家族を守る**ための「**アイラブ家族デー**」に教職員も取り組んでいます。自分と大切な人を守るという意味では、「**不祥事防止喚起日**」という意味もあります。

この他にも、町からは、ICカードによる出退勤時刻管理システムの導入、一人一台のタブレット導入やICT活用による業務の効率化、給食費の公会計化、夏休みの閉庁日の拡充などで大変助かっております。学校でも、うちよアプリによる教材費集金、学期末の事務整理期間の拡大、地域学校協働活動による通学路における登校見守りやあいさつ運動など、ご理解とご協力をいただいておりますことに感謝いたします。まだまだ課題は山積しておりますが、できることから取り組んで参ります。教職員の生き生きとした姿から、りん小っ子にも教員志望者が増えることを夢見て!

<めざす家庭・地域像>

笑顔と元気がいっぱいの家庭・地域! 安心して生活できる家庭・地域! 子どもの夢実現を支える家庭・地域!